

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成29年5月18日(2017.5.18)

【公表番号】特表2016-516816(P2016-516816A)

【公表日】平成28年6月9日(2016.6.9)

【年通号数】公開・登録公報2016-035

【出願番号】特願2016-509051(P2016-509051)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/4985 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 P 25/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/4985

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 43/00 1 1 1

A 6 1 P 25/00

【手続補正書】

【提出日】平成29年3月31日(2017.3.31)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

MGMTのタンパク質発現及び/又はプロモーター低メチル化により特徴づけられる多形性膠芽腫を治療するための医薬組成物であって、1-エチル-7-(2-メチル-6-(1H-1,2,4-トリアゾール-3-イル)ピリジン-3-イル)-3,4-ジヒドロピラジノ[2,3-b]ピラジン-2(1H)-オン、又はその医薬として許容し得る塩、立体異性体、若しくは互変異性体を含む、前記医薬組成物。

【請求項2】

前記1-エチル-7-(2-メチル-6-(1H-1,2,4-トリアゾール-3-イル)ピリジン-3-イル)-3,4-ジヒドロピラジノ[2,3-b]ピラジン-2(1H)-オン、又はその医薬として許容し得る塩、立体異性体、若しくは互変異性体が、約0.5mg/日～約45mg/日の量で投与される、請求項1記載の医薬組成物。

【請求項3】

MGMTのタンパク質発現又はプロモーター低メチル化により特徴づけられる多形性膠芽腫を有する患者における、完全奏効、部分奏効又は病状安定の多形性膠芽腫に関する神経-腫瘍学作業グループの奏効評価(RANO)を達成するための医薬組成物であって、1-エチル-7-(2-メチル-6-(1H-1,2,4-トリアゾール-3-イル)ピリジン-3-イル)-3,4-ジヒドロピラジノ[2,3-b]ピラジン-2(1H)-オン、又はその医薬として許容し得る塩、立体異性体、若しくは互変異性体を含む、前記医薬組成物。

【請求項4】

MGMTのタンパク質発現又はプロモーター低メチル化により特徴づけられる多形性膠芽腫(GBM)を有する患者におけるS6RP、4E-BP1及び/又はAKTのリン酸化を阻害するための医薬組成物であって、1-エチル-7-(2-メチル-6-(1H-1,2,4-トリアゾール-3-イル)ピリジン-3-イル)-3,4-ジヒドロピラジノ[2,3-b]ピラジン-2(1H)-オン、又はその医薬として許容し得る塩、立体異性体、若しくは互変異性体を含む、前記医薬組成物。

る塩、立体異性体、若しくは互変異性体を含む、前記医薬組成物。

【請求項 5】

MGMTのタンパク質発現又はプロモーター低メチル化により特徴づけられる多形性膠芽腫(GBM)を有する患者におけるDNA-依存性プロテインキナーゼ(DNA-PK)活性を阻害するための医薬組成物であって、1-エチル-7-(2-メチル-6-(1H-1,2,4-トリアゾール-3-イル)ピリジン-3-イル)-3,4-ジヒドロピラジノ[2,3-b]ピラジン-2(1H)-オン、又はその医薬として許容し得る塩、立体異性体、若しくは互変異性体を含む、前記医薬組成物。

【請求項 6】

前記多形性膠芽腫が、PI3K/mTOR経路が活性化されているものである、請求項1～5のいずれか一項記載の医薬組成物。

【請求項 7】

前記多形性膠芽腫が、ERBB2変異、PTEN変異又は喪失、NF1変異又は喪失、PIK3Ca変異、EGFR変異又は過剰発現、Met増幅、PDGFRa活性化又は増幅、AKT増幅、或いはそれらの組合せに起因して、PI3K/mTOR経路が活性化されているものである、請求項6記載の医薬組成物。

【請求項 8】

前記多形性膠芽腫が、MGMTタンパク質発現により特徴づけられる、請求項1～5のいずれか一項記載の医薬組成物。

【請求項 9】

前記多形性膠芽腫が、MGMTプロモーター低メチル化により特徴づけられる、請求項1～5のいずれか一項記載の医薬組成物。

【請求項 10】

化合物、及び該化合物の投与に対する患者奏効をモニタリングするための手段を備えるキットであって、ここで該患者は、MGMTのタンパク質発現又はプロモーター低メチル化により特徴づけられる多形性膠芽腫(GBM)を有し、ここで該化合物が、1-エチル-7-(2-メチル-6-(1H-1,2,4-トリアゾール-3-イル)ピリジン-3-イル)-3,4-ジヒドロピラジノ[2,3-b]ピラジン-2(1H)-オン、又はその医薬として許容し得る塩、立体異性体、若しくは互変異性体である、前記キット。

【請求項 11】

前記多形性膠芽腫が、MGMTタンパク質発現により特徴づけられる、請求項10記載のキット。

【請求項 12】

前記多形性膠芽腫が、MGMTプロモーター低メチル化により特徴づけられる、請求項10記載のキット。